



大樹のこころ

明けまして、おめでとうございます。

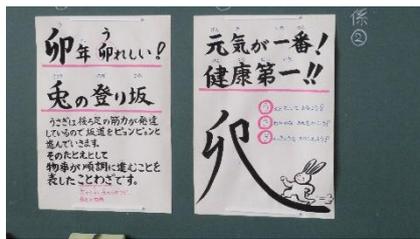
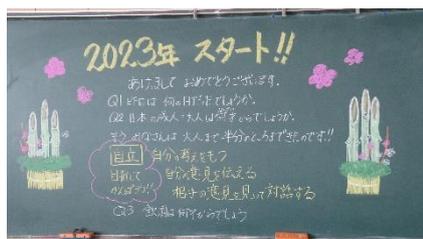
2023年を迎えました。新しい1年の幕開けです。一昨日、本学区待望のNHK大河ドラマ「どうする家康」の放映が開始されました。松本潤さん演じる徳川家康が躍動する姿に、期待に胸が高鳴りました。これから1年、家康が「どうする」と苦悶しながら、天下人となっていく姿をテレビ画面越しに見守っていくこととなります。家康の成長とともに大樹寺小も大きくなっていければと思っています。大河ドラマに関係して、昨年度に何度かマスコミ取材がありましたが、今年も続きそうです。子供たちの活躍ぶりがテレビやラジオなどで紹介されることは、とても楽しみです。



本校にとって、今年は大河ドラマの放映以外にも、大きな出来事があります。それは創立150周年を迎えるということです。12月2日が本校の創立記念日です。そこで今年の12月2日(土)に150周年の式典を行います。この式典に向けて着々と準備をしています。学校主体の式ですが、150年の歩みは学校だけで成し得たものではありません。地域の方の支えがあつてのものです。そこで150周年準備委員会を立ち上げ、社教委員長・総代会長・PTA会長とも相談しながら式典の準備を行っています。詳細については、まだ極秘です。どんな式典になるのか楽しみにしておいてください。

もう一つ、大きなことが。それは校舎全面改築です。工事対象となるのは「中校舎」。現在の職員室や特別支援教室、3・4年生の教室などがある校舎です。35年先を見越した最新鋭の教室になると聞いています。工事は12月から本格的にスタートし、令和6年度の12月まで続きます。工期中は、体育館横に仮設校舎が建てられ、そこに順次学級が入っていくこととなります。ですから年度途中の「教室の引っ越し」があります。また、現在の駐車場が工事の資材置き場となり、教職員の車を運動場に停めることになる予定で、仮校舎と駐車場によって運動場の面積が狭くなり、授業や行事に影響が出てきます。ちょっと不便な生活になることが予想されます。保護者の皆様にもご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解いただきたいと思ひます。

2023年は、大河ドラマに150周年、さらに校舎改築と慌ただしい1年となりそうです。しかしこれをマイナスに考えるのではなく「活気をもたらす」と捉え、前向きに進んでいきたいと思っています。今年もよろしくお祈りします。



3学期の始業式に向けて、担任の先生方は、黒板メッセージを書いて子供たちを迎えます。メッセージの中に先生方の温かさと意気込みが感じられます。2023年も頑張れそうですね。